

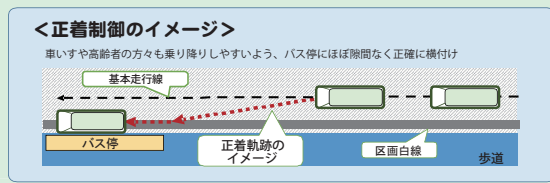
[トピック] 渋滞対策・自動運転

沖縄の交通渋滞を解消するためにはハード整備のみならず、過度に自家用車に依存する構造を官民が連携して変えていく必要があります。内閣府では、「沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会」を開いて道路渋滞の解消に向けて検討を行ってきました。平成28年11月に取りまとめられた懇談会の提言では、ハード整備のみならず、公共交通活性化に向けたソフト対策等が盛り込まれたところであり、これに基づき、効果的な対策を実施することとしています。

交通事故の低減や渋滞削減、次世代都市交通システムの実現等のため、産官学が連携して、「自動走行システム」の研究開発が行われています。自家用車に過度に依存する沖縄において、沖縄の深刻な渋滞解消に向けたバスの利便性の向上、急増する観光客や高齢化が進む地方部での移動手段確保に向け、「自動走行システム」を活用したバスの実証実験を行っているところであり、平成29年3月に沖縄県南城市の公道でバスの正着制御※の技術実証等を実施し、平成29年6月には石垣市において自動運転バス実証実験を実施しました。

沖縄における自動運転の実験

平成29年3月に第1ステップとして、沖縄県南城市で公共バスの正着制御※の技術実証等を実施しました。



※高齢者等が乗り降りしやすいよう、バス停にほぼ隙間なく正確に自動横付けする機能



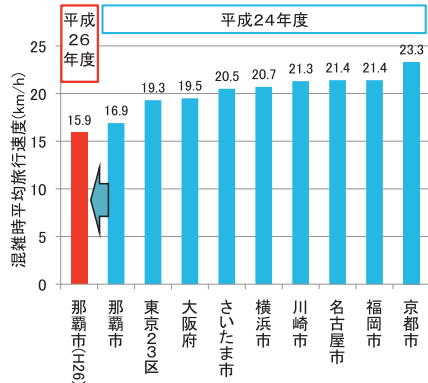
沖縄県南城市の公道におけるバス自動運転実証実験の様子



全国一の渋滞

全国県庁所在地で最低ピーク時の速度:16km/h

◆平日混雑時旅行速度の比較

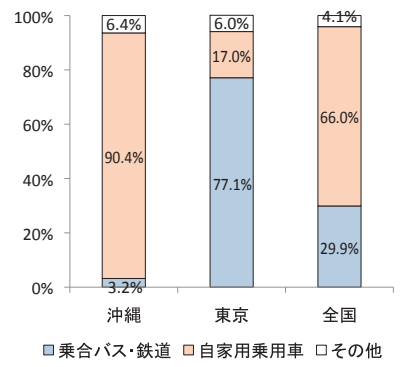


出典: H26一般車プローブデータ (那覇)、H24一般車プローブデータ

極端なマイカー依存

自家用車依存率:90.4%、公共交通利用率:3.2%

◆機関別旅客輸送分担率

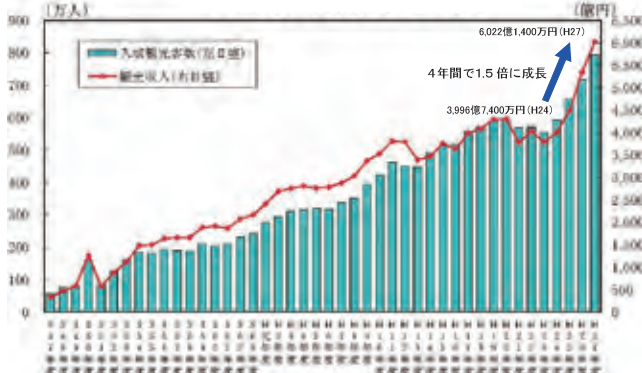


出典: 旅客地域流動調査 (H21年度)

観光客の急増

H27年度:約800万人、観光収入H24→H27で約1.5倍

◆入域観光客数・観光収入の推移(年度)



出典: 平成27年度の観光収入について (沖縄県観光政策課)

高齢化の進展

今後5年間で超高齢化社会に [高齢化率22.9%(H32)]

有識者懇談会にて提言された取り組むべき施策

道路ネットワーク整備等

- ①ハシゴ道路ネットワーク等、幹線道路網の整備
- ②渋滞ボトルネック箇所における交差点改良および立体化 等

地域の公共交通システムの再編・活性化

- ①公共交通の整備・再編
- ②交通結節点の整備
- ③歩行者や自転車等にも優しい道路空間の再編・創出

公共交通の使いやすさの向上

- ①使いやすさの向上に向けた情報提供システム等の整備
- ②ICカード等を活用した公共交通利用促進策
- ③観光客の公共交通活用対策
- ④賢い道路の利用